

# 合科による天文学習の一例 2

## 一言語活動を中心として

○西村 一 洋

NISHIMURA Kazuhiro

枚方市立樟葉西小学校

【キーワード】 星座, 月星夜, 鑑賞, ゴッホ, 言語活動

### 1 目的

正解のないものを論議させる。自分の意見をどれだけ言うことができるか? 「ゴッホは、何座を描いたのだろうか?」を課題にして、ゴッホの月星夜(図1)を見て、ディスカッションを展開した。この授業を展開するのに石坂<sup>1)</sup>(2013)の「ファン・ゴッホ『星月夜』考」がヒントになり、授業の実践を行った。昨年は、「ローヌ川の星月夜」をテーマに同じような授業を展開した<sup>2)</sup>。この授業実践を行うに際して、教員免許更新講習で学んだACOPの授業をヒントに行った。



図1

### 2 方法

(1) 実践校・学年

実践校：大阪府枚方市立樟葉西小学校

実施学年：6 学年

実施時期：2013 年 2 月

(2) 授業実践 1

(1 時間完了)

ゴッホの絵の鑑賞をする前に、4 学年のときに学習した星座の復習をした。(図2)

(3) 授業実践 2(1 時間完了)

月星夜(図1)を見て、気がついたことを発表させるところから始めた。自主的に手を挙げて、発表をさせることにしたある程度、発表が終わると、次は、「ゴッホは、何座を描いたのだろうか?」と発問をした。そのとき、ただ単に星座名や星の名前を言うのではなく、その理由も言わせるようにした。

### 3 結果

「右上の方に描いているのは、月だと思えます。他の星よりも大きくて、欠けているからで

す。」「夏の大三角を描いたと思えます。この絵を描いたのは夏だと思えます。地平線近くに天の川が見えているからです。」「さそり座を描いたと思えます。地平線近くで明るい星が描かれているからです。」「冬の大三角を描いたと思えます。天の川は冬にも見えるし、左手前の木は、葉っぱがついていないので冬だと思えます。」

### 4 考察

今回も、答えのない問題で意見を出させた。どのような意見を言っても間違いだと言えないということと、星座の復習をしたことが意見を出しやすかったのではないかと考えられる。今回手を挙げた回数を記録した。普段の手を挙げる回数に比べ、とても多く手を挙げた子が、70%近くあった。感想を書かせると、「本当は、何座を描いたのか知りたい。」「この絵は、とても奥が深いことがわかった。」「星座についてももっと知りたいと思った。」などのことが書かれていた。

### 5 まとめ

たくさんの意見を言う、しかも科学的な説明をすることを目的として、授業を行った。このことは、達成されたと思う。また、考える力もついてきたのではないと思われる。

### 6 謝辞

この授業をするのに、ヒントを出してくださった大阪市立科学館の石坂千春氏、授業方法のヒントをいただいた京都造形芸術大学の福のり子先生に感謝いたします

### 参考・引用文献

1) 石坂千春：ファン・ゴッホ『星月夜』考，2013年1月号120号 Vol.25 No.1 巻114号38-42，天文教育普及研究会

2) 西村一洋：合科による天文学習の一例，2012年度日本理科教育学会近畿支部会要項



図2